

Summer Program STPC Teaching Cambodia

STP カンボジア

年次活動報告書

2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

2018 年度



2018 年 10 月 発行

Summer Program STP Teaching Cambodia

STP カンボジア

2018 年度年次報告書 もくじ

ごあいさつ3

STP カンボジアについて.....4

I. STP カンボジアの活動概要.....
4

II. STP カンボジアの歴史 5

カンボジアでの活動6

I. 事業概要
..... 6

II. 年間スケジュール
8

III. カンボジア現地活動スケジュール・・・
9

IV. 実施授業一覧 10

V. 反省・改善点 14



ごあいさつ



STP Cambodia 10 代目代表

上智大外国語学部英語学科 3 年

松村 誠也

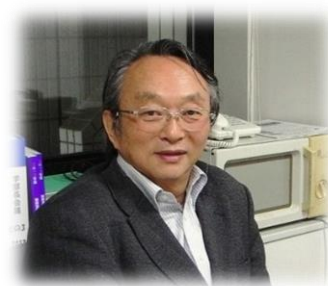
今年度は我々 STP カンボジアが 10 周年ということで、プログラムを通して新たな取り組みを実施しました。まず今まで 150 人の生徒をランダムに 3 クラスに分けていたのを、今年度は生徒の英語学習歴に基づいた英語習熟度別にクラス分けを行いました。その結果、例年より生徒一人一人のレベルにあった授業を展開できたと実感しております。またプロジェクターを 3 クラスに本格導入し、今までに無い動画を使った授業などを組み込みました。生徒にとっても新鮮だったようです。こうした中でクラス分けの効率化やプロジェクターの使用方法など課題点も多く見つけましたが、こうして新しい事に挑戦したからこそ見つかった課題です。つまり、新たな課題が見つかった事を成果の一部として捉えたいと思います。プログラム終了時には、生徒から「また来年も来てね」や「英語が好きになった」などの声をかけてもらい、本当にこの活動をやって良かったと思います。STP カンボジアとして活動し、教育面だけでなく、カンボジアの歴史や文化など、また組織運営の仕方や会計管理など様々な事を学び成長できたと感じております。

今年度の夏の活動をもって 3 年生は引退しますが、この 3 年間 STP で得た素晴らしい経験を糧に、さらに精進して参ります。また、これからは現在の 2 年生、1 年生が中心となって活動を進めていくこととなります。次年度以降も STP カンボジアはメンバー一同活動に励んでまいります。これからもご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

STP カンボジア 10 代目代表

松村誠也

STP (サマー・ティーチング・プログラム) は、1968 年に始まった学生主催の英語教育ボランティア活動です。当時は、学生運動が盛んな時代でしたので、このような活動を理解してもらうことが難しかった中、当時の Nissel 英語学科長のご紹介で、下関と小野田のカトリック関係の教育機関で第 1 回を開催することができました。それから 50 年、STP は日本各地で開催されてきましたが、2008 年に上智大学アジア人材養成研究センターの設立者で上智大学長の石澤良昭先生のご紹介で、カンボジア、シェムリアップで初めての海外 STP の開催が決まりました。現役 STP 経験者が中心となり、シェムリアップに出向き、上智大学アジア人材養成研究センターの三輪悟先生のご協力の下、2009 年に第 1 回 STPC がワットチョー中学校で開催されました。それから現在まで、色々な方の協力を得て STPC は発展してきました。新校舎建設のために STP の OB たちも協力をして、物資や資金の援助を続けてきました。今後もカンボジアの子どもたちのために、STPC は大きな貢献を続けていくでしょう。



上智大学特別招聘教授 STP 顧問

吉田 研作 教授



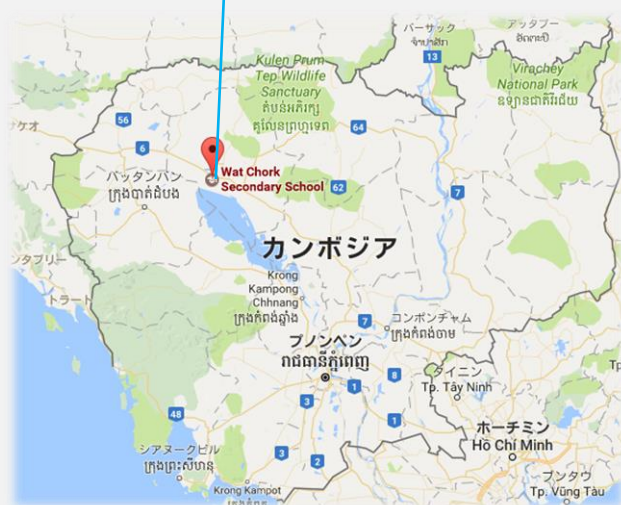
写真：2017 年度、カンボジアの滞在先のホテル前にて撮影。

STP カンボジアについて

I.STPカンボジアの活動概要

S T P カンボジアは上智大学の外国学部英語学科の学生で構成されているボランティア団体で、もともとは 50 年前に現在の上智大学特別招聘教授である吉田研作 教授により設立された S T P として日本国内での夏季英語教育支援活動を行っていました。今から 10 年前の 2008 年に上智大学と縁があったカンボジアでの活動をはじめることになり、新たに STP カンボジアが設立されました。私たちは夏季休暇を利用しカンボジア、シェムリアップのワットチョー中学校において英語教育支援活動を行っています。授業案を一からすべてメンバーで思案し、授業に使用する道具やテキストもすべてメンバーの手作りです。私たちの目的はカンボジアの生徒の英語力や国際的な視野を養うことですが、プログラムを通じて 1 人でも多くの生徒が英語や国際的なことに興味を持ってくれたら良いと考えています。

ワットチョー中学校



III.STPカンボジアの歴史

STPカンボジアは2018年度で10年目を迎えました。ここで、STPカンボジアの歩みを紹介したいと思います。

日付	出来事
2008, 10 月	STPカンボジア設立
2009, 8/1～8/11	第1回 STP カンボジア
2010, 8/3～8/11	第2回 STP カンボジア
2011, 8/3～8/11	第3回 STP カンボジア
2012, 8/2～8/8	第4回 STP カンボジア
2013, 8/5～8/10	第5回 STP カンボジア
2014, 8/1～8/9	第6回 STP カンボジア
2015, 7 月	在カンボジア王国日本国大使館により STP カンボジアが「日カンボジア絆増進事業」に認定
2015, 8/1～8/9	第7回 STP カンボジア
2016, 8/16～8/24	第8回 STP カンボジア
2017, 8/14～8/24	第9回 STP カンボジア
2018, 8/11～8/21	第10回 STP カンボジア（予定）

STP カンボジアは設立されて以降毎年、カンボジアのワットチョー中学校における夏季英語教育支援活動を行ってきました。カンボジアの中学校は日本と違い、8月でも授業期間中である事や我々の活動資金の関係もありプログラムの実施期間は5日間から9日間程度と多少短いですが、その分生徒も集中して学習に取り組むことが出来ていると実感しています。2015年の7月には、我々STPカンボジアの夏季英語教育支援活動が在カンボジア王国日本国大使館により「日カンボジア絆増進事業」として公式に認められました。



写真：2018 年度、フェアウェルにて撮影

カンボジアでの活動

I. 事業概要

件名：Summer Teaching Program Cambodia 2018

事業実施期間：2018 年 8 月 11 日～8 月 22 日まで

事業対象：カンボジア、シェムリアップ州ワットチョー中学校

参加者：150 名程度のカンボジアの中高生

カンボジアでは 30 年近く続いた内戦が
終わりを告げ、現在は経済の発展途上
にあります。またその一方で、経済格差や
教育問題、非識字率の高さなどといった
問題も残されています。ポル・ポト政権
時代の学校教育の廃止政策のため、学校
校舎の破壊や教員の殺害、さらには焚書
政策により書物の多くが失われてしま
いました。内戦が終了してからは校舎の建設



等の教育整備がなされてはいますが、建物の状態が良好な校舎の割合は5割に留まっているそうです。それに加え、内戦により教員の数が非常に少なかったことで、正規の教育トレーニングを受けていない人が教員になっているケースも珍しくないとのこと。そこで私たちはカンボジアにある、カンボジアの遺跡の修復及び、その修復に携わるカンボジア人の人材の育成に取り組む上智大学アジア人材養成研究センター（以下上智センター）の協力を経て8日間のプログラムで英語の教育支援活動を行っています。カンボジアでは教員不足により学校を午前と午後の2部制をとり、1クラスにつき先生が1人で受動的な授業を展開しています。



（写真：上智センターで活動する三輪 悟さん）

今年度はメンバー23人でプログラムを実施したことで、生徒6.5人につき先生1人の割合で英語教育をすることができました。私たちのプログラムの趣旨は英語教育の支援ですが、英語に集中するだけでなく英語を用いて科学の実験なども実施しました。非常に多くの生徒が笑顔で楽しんで授業を受けていたように感じました。また、今年度はSTPC史上初となるプロジェクターの導入もあり、非常に活発に活動できたと実感しております。プログラム終了時には生徒から”Thank you, I love STPC” や、”Please come back next year” と言ってもらい、我々も「やって良かった」と感じております。

また、ティーチングだけでなく、生徒と共に見る伝統文化も非常に意味のあるものになりました。今年度は、上智センターが関わっているカンボジアの伝統文化の一つであるスバエクトムを見学しました。カンボジアの生徒が役者さんの説明を一生懸命聞きメモをとっている姿が印象的でした。



II. 年間スケジュール

私たち STP カンボジアはカンボジアのワットチョー中学校における夏季英語教育支援活動に向けて約 11 か月間の準備期間を経て取り組んでいるため、1 年間を通してきめ細かい計画を立てて普段の活動に取り組んでいます。2018 年度は 4 月から 8 月を前期とし 2018 年度のプログラムに向けて活動しました。9 月から 3 月を後期として来年度のプログラムにむけて準備活動を行います。

〈2018 年度年間スケジュール〉

日付	予定	内容
4 月	新メンバー募集、予算書及び活動計画書作成	入学式後すぐに募集説明会、選考を実施し、新入生 6 名を迎える
5 月	オリエンテーション合宿、授業案決定	合宿を通して全 16 種類の授業案、遠足地や運動会などプログラム内容を決定
6 月	教科書、小道具準備	すべての授業案を書式化すると同時に教科書や道具などを作成
7 月	模擬授業、授業改善	メンバーを生徒に見立てて全ての授業を行い、英語教育専門家の意見も頂き改善
8 月	カンボジアでのプログラム実施	2 週間滞在し、午前は学校で 4 時間のプログラム、午後は 3 時間の反省ミーティング
9 月	反省合宿、新役職決定	4-8 月までの全ての活動を振り返り、改善点を出し合う。ここで 3 年生は引退、役職の引き継ぎ交代を実施。
10 月	次年度のプログラム案	出された反省を全て活かして、次のプログラム全体を改善する
11 月	次年度の遺跡見学地決定	シェムリアップにある遺跡を調べ、上智センターと協力して次の見学地決定
12 月	次年度の授業案	次年度の授業案について考え、幾つか事前に決定する
1 月	現地交渉準備	翌月の現地交渉で確認する点を全員で確認する
2 月	現地交渉	代表・副代表が現地の校長と対談し、次プログラム日程を決定、学校校舎の変更の有無を確認
3 月	現地交渉報告会、募集説明会準備、決算報告	校長の要望を共有。翌月の説明会の資料、動画作成

日頃の活動も現地でのティーチングを見据えて全力で活動していますが、現地での活動が近づいてくると上智大学言語教育研究センターの藤田 保 教授を招きアドバイスをいただきながら、メンバー全員で積極的に模擬授業の実施に取り組みました。現地活動が終わってからは、小休止をいれつつ次年度のプログラムに向けて準備に取り組み始めました。

III.カンボジア現地活動スケジュール

今年度のカンボジアでのプログラムは中日の休みを2日含む計11日間で実施しました。授業実施日の午後は上智センターの協力を経て、反省会を行いました。約150人の生徒を「Sunflower」、「Tulip」、「Poppy」の3クラスに分けて授業を実施しました。毎朝、朝礼を行い今年のSTPのテーマソングである“Top of the World”を歌いました。

日付	クール	予定	内容(授業内容) (S=Sunflower, T=Tulip, P=Popp)
8/11		中学校訪問・挨拶	校長先生に挨拶、新メンバーの紹介
8/12	第1クール	プログラム1日目 (1,2 限目はオリエンテーション)	Sクラス:Self-Intro Tクラス:Cooking Pクラス:Skit1
8/13		プログラム2日目	Sクラス:Skit1, Words World, Cooking Tクラス:Gide, Skit1, Self-Intro Pクラス:Self-Intro, Company& Ads
8/14		プログラム3日目 (2,3 限は Dance)	Sクラス:Guide Tクラス:Speech Pクラス:Skit2
8/15		中日1日休み	第1クールの授業を振り返り、反省会をする。
8/16	第2クール	プログラム4日目	Sクラス:Science, Skit2, Japanese Tクラス:Words World, Company& Ads Pクラス:Cooking, Lifestyle, Words World
8/17		プログラム5日目 (2,3 限は MATSURI)	Sクラス:Culture Tクラス:Science Pクラス:Speech
8/18		プログラム6日目 (午後はスバエクトム見学)	Sクラス:Diversity, Speech, Life Style Tクラス:Lifestyle, Skit2, Culture Pクラス:Culture, Science, Guide
8/19		中日1日休み	第2クールの授業を振り返り、反省会をする。
8/20	第3クール	プログラム7日目	Sクラス:Simple Talking, Company& Ads Tクラス:Art, Diversity, Japanese Pクラス:Japanese, Simple Talking, Art
8/21		プログラム8日目 (2,3 限 Sports Festival)	Sクラス:Art Tクラス:Simple Talking Pクラス:Diversity
8/22		プログラム9日目	終日フェアウェル

カンボジアでの生活は日本と異なる点が多く、体調も崩しやすい環境にありますが、メンバー同士での体調管理を怠らず中日の休みを活用しながら無事に活動し終えることが出来ました。最終日には生徒へSTPのプログラム修了証書を渡し、生徒と共に昼食をとりました

IV.実施授業一覧

今年度は合計で 16 種類の授業（アクティビティ含む）を実施しました。どの授業もできるだけインタラクティブなものになるように思案し、生徒とのかかわりを大切にしました。またカンボジアのほとんどの中学校では体育や美術、音楽などといった授業がないため、プログラムの中にそのような内容を扱う授業も組み込みました。



- ① **Classroom English**: 教室で使用する単語やフレーズを、アクティビティを通して学ぶ。（オリエンテーション）



- ② **Art**: 創造力を豊かに使って、それを絵に表現し、英語を使って自分の描いた絵を紹介する



- ③ **Cooking**: 料理に関する単語を学び、それを使いながらカンボジア料理を説明する。さらにその調理方法を書けるようにする。



- ④ **Guide**: 道順を説明するときに必要な表現を学ぶ。ロールプレイで実際に観光客役と案内約に分けて実践する。



- ⑤ **Japanese**: 日本語という外国語を楽しくなれ親しむ。実際に前に出て短い会話を実践してもらう。



- ⑥ **Speech**: 自分の誕生日についてスピーチ、歌で誕生月を覚えた後、原稿を作り、ペア・グループで練習した後みんなの前で発表する。



⑦**Words World**: 英語を使った言葉遊びをして、フレーズや語彙を身に付ける。



⑧**Lifestyle**: 単語を教えながら、一週間の出来事を紹介、1日の流れを作成し、最後はアクティビティを通じて使えるようにする。



⑨**Culture**: スバエクトム、そして無形文化遺産について学ぶ。



⑩**Science**: ペットボトルロケットを通して、科学の原理に触れ、生徒たちの感性を刺激する。



⑪**Skit**: おとぎ話のラストを生徒に考えてもらい、実際に演じてもらう。



⑫**Diversity**: 様々な人種の留学生が出たビデオを見てそれぞれの登場人物がどこ出身かを予想する。また、最後には国を一つ決めてその国の人へ手紙を書く



⑬**Company & Ads**: 入手した材料を元に商品を作りグループでPRし、他のグループが作った商品を購入しあう授業



⑬ **Matsuri**: 日本の文化を紹介し、実際に体験してもらう。書道や、着物、半纏などを着てもらう。日本に興味があるカンボジアの生徒が多いため、日本について知ってもらう良い機会である。



⑭ **Dance**: 世界各国の有名なダンスを生徒と一緒に踊る授業。またカンボジアの伝統的な踊りである、アプサラを生徒に教えてもらい、文化交流を計った。



⑮ **Sports**: 大縄や綱引き、二人三脚などを行い、体を動かした。限りなく日本の運動会に似せたこのアクティビティは生徒にとっても授業として運動をするのは新鮮な感覚だったようだ。

V.反省点・改善点

1 プログラム全体について

今年度はより生徒にあった授業をするため、レベル別の授業を展開し、150名程度の生徒を受け入れました。今年度は我々スタッフの数が23名と昨年度よりも多かったため生徒一人一人に対応できたと感じています。教科書も昨年度より多めに印刷し、教科書不足も発生しませんでした。授業全般を通して見つかった課題としては、レベル別の授業をしてもうまく習熟度別に分けられていなかった事です。今年度は、オリエンテーションの段階でのアンケートによってクラス分けをしましたが来年度は、また違った方法でしっかりとレベル分けができるように実施していきたいと考えています。

2 オリエンテーション・フェアウェルパーティーについて

プログラム1日目にはオリエンテーションを行い、我々が生徒の名前を覚え、生徒が我々の名前を覚えるための名前ゲームや玉入れなどを行い生徒との親睦を深めました。多くの生徒が楽しんでおり、アイスブレイクの役割をきちんと果たしてくれたオリエンテーションになりました。また Classroom English もオリエンテーションの一環として行い、教室で使う基本的な英語について学習しました。

最終日のフェアウェルパーティーに関しては、反省点が多いものになってしまいました。今年度は昨年度の反省を生かし、前もって現地の先生と連携し図書館を確保しておいたのですが、それでも使用する時間になっても図書館のカギを持った先生が現れず、スケジュールが押

してしまうなどの問題が発生してしまいました。また昨年同様、生徒から大掛かりなサプライズがあり、予定していた時間に終了できないなど、混乱に陥ってしまう場面が多々ありました。



実施した授業に関しては、授業の雰囲気や午後の反省会議・アンケートの結果を考慮しても、とても充実したものになったと感じています。今年度は、新しい授業を3つほど実施しました。新しい授業のうちの1つである“Cooking”は、カンボジア料理の作り方を英語で説明できるようになる授業でした。少しレベルが高いと感じる部分もありましたが、アイデアとしては非常に伸びしろがある授業で、これから議論を重ね、来年度も続けていくかどうかを決めていきたいと考えております。新しい授業ではありませんが“Words World”というモノの表現の仕方を学ぶ授業も人気がありました。また昨年度、全体授業として行ったScienceは、今年度は普通授業として行いペットボトルロケットを行い、その原理に焦点を当てました。生徒自ら、水の量を調整してどのようにしたらペットボトルが遠くに飛ぶかを考えてもらいました。アンケートではやはり昨年度に引き続き”Art”の授業が人気でした。

それに加え、改善すべき点多々ありました。昨年度の反省として図書館の使用という問題がありましたが、今年度も同じ問題が生じてしまいました。当初は使用しない予定でしたが、現地交渉の際、現地の先生から使用できるとおっしゃっていただき、結局使うことになりました。しかし、実際には予定していた時間に図書館のカギをもった先生が現れず、スケジュールに大幅なずれが生じてしまいました。来年度は、図書館を使用できるプランAと使用できないプランBの両方を用意し、対策を行っていきたい





今後の活動について

私たちSTPカンボジアはこれからも活動をしていく予定です。2018年度はSTPカンボジア設立10周年を迎えました。2019年の2月には来年度のプログラムのための現地交渉を終え、日程を確定します。来年度も今年度と同じくティーチング期間を9日間にし、中日を2日も設けて11日間のプログラムにする予定です。すでに幾つかの授業案を思案し、少し早めの模擬授業も実施し始めました。

3月は別れの季節と言われており、私たちSTPカンボジアも昨年度に活動から引退した4年生の正式な引退式を行いました。また4月は出会いの季節です。4月には新入生の入学がありますので、そこで新メンバーを10人ほど募集し、STPカンボジアのさらなる発展のためにメンバー一同努力をしていく次第であります。

2018 年度会計報告

支出明細

収入		支出	
会費(1000× 23人×4ヶ 月分+1000× 12人)	¥104000	授業準備費 用	¥140000
一般財団法人 共立国際 交流奨学財 団	¥150000	交通費	¥120555
緑蔭口座	¥10575	消耗品費	¥83000
収入合計	¥264575	支出合計	¥343555
繰越し金	¥-78980		

Summer Program STP Teaching Cambodia

STP カンボジア

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1（上智大学四谷キャンパス）

